りょうCafé(県政報告会)のご案内

●4月5日(金)19時~21時 Zoom *オンライン会議システム



【第1部:広報(19時~20時)】

石川りょうから千葉県政の流れや千葉県議会の動きなどに ついてご報告します。

【第2部:広聴(20時~21時)】

参加者の皆さまから、千葉県政と船橋市政に関するご質問 やご意見、ご要望などをうかがいます。

参加費無料。途中入退室いつでも可能。 参加をご希望の方は、右の二次元コード からお申込み。または、下に記載の連絡 先やSNSなどからご連絡ください。





- 3人以上の人数を集めていただければ、石川りょうが市内のどこに でも伺って県政報告会を開催します。お気軽にお問合せください。
- ●日々の相談事や、千葉県政や船橋市政へのご意見・ご要望などは、 お一人からでもいつでも受け付けています。 ご都合の良い日時と場所にお伺いします!

プロフィール

- ●1980年(昭和55年)11月15日生まれ
- ●芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部卒業
- ●JICA青年海外協力隊・村落開発普及員(ケニア)
- ●国連プロジェクトサービス機関(UNOPS)
- ●英国国立マンチェスター大学大学院修了
- ●開発コンサルタント会社アイ・シー・ネット(株)
- ●外務省在スーダン大使館、在南スーダン政府 連絡事務所(現大使館)二等書記官
- ●早稲田大学公共経営大学院修了
- ●船橋市議会議員(2期)



千葉県東葛地域の議員たちと「ちば東葛無所属の会」を結成!

【資格など】

TOEFL(CBT)257点(TOEIC915点相当)、仏語検定3級、 プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、 政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、 ふなばし市民大学校平成26年度ボランティア学科

発行者:石川亮 事務所: 船橋市芝山2-2-1-208 携帯電話:080-6575-4711 メール:info@ishikawaryo.net

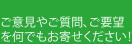














【千葉県】令和6年度当初予算と主な施策

令和6年度当初予算の概観

令和6年度当初予算は、千葉県の最上位計画で ある総合計画における実施計画の最終年度である ことから、これまでの成果を踏まえて更なる充実が 図られ、将来の千葉県の発展につなげていくため の予算となっています。

具体的には以下のような特徴があります。

- ●将来を見据えた産業・地域づくりの促進や道路 ネットワークの整備、農林水産業の生産性向上や 販売力強化などによる県内経済の活性化
- ●子どもの学力向上や教育機会の確保、教員の多 忙化対策や人材確保、保育の質の充実などの教育 と子育で施策の推進
- ●多様性尊重推准条例の基本理念の理解促進や、 あらゆる分野における施策の推進による多様性が 尊重される社会づくり

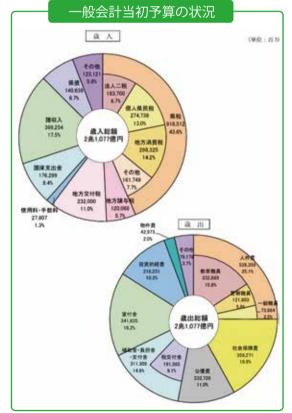
その他にも、防災・減災対策の強化、医療・福祉 の充実、観光、文化・スポーツの振興、千葉の魅力 向上、脱炭素化やDXの推進など、各分野にわたる 幅広い施策が展開されています。

一般会計について

一般会計の予算規模は2兆1.077億円で、 対前年度約894億円(4.1%)減となりました。

その理由として、歳入では、企業業績の堅調な推 移により、法人事業税と法人市民税が前年度より約 29億円増額となっているものの、個人県民税は 政府による所得税と住民税の定額減税の影響など により、前年度から約22億円の減額となる見込み であること。また、輸入額の減少などにより地方消 費税が約150億円減額となり、県税全体で約1 2.4億円の減額となることなどがあります。

歳出を見ると、社会保障費は高齢化の進展によ り増加していますが、新型コロナウイルス感染症対 応にかかっていた経費は大幅に減額(約1,504 億円減)されることになっており、トータルで見ると 予算規模は縮小しています。



子どもの可能性を広げる千葉の確立

- 深刻な教員不足解消のため、教員採用者への奨学金返還支援を実施するほか、教員志願者に訴求力の 高い採用プロモーションや千葉大学教育学部との教員確保策を検討するモデル事業に取り組む。
- 理数教育や技能教科の指導の充実を図るため、県独自の専科教員等の配置を公立小学校160校に 拡充するとともに、高校で、新たに外部人材により理数の魅力・楽しさを伝えるSTEAM教育に取り組む。
- いじめ・不登校の防止、早期発見、解決のため、スクールカウンセラーや スクールソーシャルワーカーの配置を拡充するなど、相談体制の強化を図る。
- 教員の長時間勤務改善のため、スクール・サポート・スタッフを全公立小中学校に配置。
- 不登校児童生徒の多様な学びの場の充実を図るため、オンラインによる双方向型の授 業を行うとともに、学校とフリースクールの連携協力体制の構築に向けたモデル事業を実施。
- 学力向上のため、塾講師を活用して小中学校において授業補助 と補習を行うモデル事業を実施。
- 誰もが安心して学校生活を送れる環境づくりを推進するため、 県立高校のエレベーター設置を加速。
- 子ども食堂の自立的な活動を推進するため、地域における 子ども食堂間のネットワークの構築を支援。
- 子どもの貧困対策を推進するための実態調査を実施。
- 児童虐待事案等に適切に対応するため、人員配置の強化や施設整備等に より、児童相談所の機能強化を図る。

【児童相談所の新設】印旛児相(印西市)、東葛飾児相(松戸市)





● 本県経済を牽引していくことが期待される地域(成田空港周辺、幕張新都心、北千葉道路沿線、アクアラ イン着岸地周辺等) について、誘致・創出すべき産業分野を調査し、新たな産業・地域づくりを推進する。

千葉経済圏の確立と社会資本の整備

- 県内経済が緩やかに持ち直しつつある中、景気回復を確かなものとし、更に経済の好循環を促すため、 DXによる省力化・業務効率化や、新事業展開・新商品開発など、中小企業等における生産性向上を図 るために必要な設備投資への支援を増額する。
- 中小企業の人材確保に向けて、学生等の就労促進のため、新たに仕事体験ツアー を実施し、企業の受入体制づくりも支援する。また、外国人材の円滑な受入れを支援 するため、新たに企業向けセミナーやマッチングに向けた合同企業説明会、外国人 留学生向けの就労講座を実施する。
- ●新しい旅のスタイルであるワーケーションについて、実施企業に対する助成制度を 新設して、更なる受入促進を図る。
- ●「稼げる農業」の実現に向け、本県農業を牽引する経営体の育成を図るため、 規模拡大等を目指す農業者に対してソフト・ハード両面からの 支援を強化する。
- 生産量等で全国 1 位を誇る梨について、担い手の確保や生産 規模の拡大を図るため、支援体制を強化する。
- 北千葉道路について、早期の全線開通に向けて橋梁・道路改良

工事に取り組むほか、アクセス道路の調 **査設計などを行う**。



危機管理体制の構築と安全の確保

- 大規模災害発生時の被災者支援情報などを常に最新の内容で 発信できるようにするため、防災啓発サイト「じぶん防災」をリニ ューアルして情報発信を強化。
- 激甚化する災害から県民の生命・財産 を守るため、河道拡幅等の河川改良や 護岸改修等の海岸保全施設の整備、土 砂災害対策や農地防災対策を強化。
- 後を絶たない電話de詐欺の防止対 策として、コールセンターによる被害抑止や対策 機器の貸与、購入への支援を行うほか、高度なス マートフォンデータ抽出・解析ツールを導入し、 犯罪捜査能力の向上を図る。



- 交通事故の発生を防止するため、歩道整備や信号機・道路標識 の設置等を行うとともに、全ての信号機のLED化を進める。
- 自転車乗車時のヘルメット着用率向上のため、市町村 が実施するヘルメット購入助成事業に対して補助する。 *現時点で船橋市にはヘルメット購入助成事業はありません。



令和6年度当初予算 分野別の主な施策

誰もがその人らしく生きる社会の実現

- 多様性が尊重され、誰もがその人らしく活躍できる社会の形成を 推進するため、その意義や社会に存在する様々な違いに関する理 解が進むよう広報啓発するとともに、多様性に関する事業者の取 組を後押しする企業向けセミナーを実施する。
- ■リカレント教育を推進するため、キャリアの見つめ直しやスキル アップ等の支援を行う「学びの総合窓口」を新設。
- 子育で中の女性や中高年齢者などを対象とした再就職・就職後の 定着を支援し、女性や高齢者など多様な人材の活躍促進、中小企 業の人材確保を図る。
- 障害者と企業を対象に、就労意欲の醸成や障害者雇用の理解促 進、マッチング、職場定着まで支援し、障害者の就労促進を図る。

■ 義務教育年齢を超過した外国籍の子どもを対象に、高校への就

学に求められる日本語や教科等 の指導を行う教室を運営するN PO法人等に対し、経費の一部を 補助する。



未来を支える医療・福祉の充実

A 2km

- 修学資金の貸付を行うことなどにより、 医師や看護師等の確保と定着を図る。
- 大規模災害時に、県及び県内各地の災 害対策本部において、災害医療に関する 応急対応を担う専門的な人材(災害薬事 コーディネーターなど)の育成を行う。
- 新興感染症の発生・蔓延等に対する体制を整備するため、関係 機関との連携体制を構築するとともに、感染症対応のために医 療機関等が行う設備整備への助成や、医療従事者等に対する 研修を行う。
- ●特別支援学校に在籍するスクールバスへの乗車が困難な医療 的ケア児について、通学に係る保護者負担を軽減するため、県 の負担により保護者の代わりに看護師等が福祉タクシー等に 同乗して送迎を行う。
- 動物愛護センターに収容される動物の譲渡の促進 殺処分の削減に向けて、外部の獣医師を活用するこ とにより、健康管理、治療、不好・去勢手術を行う。



----- 未精通

開通済み